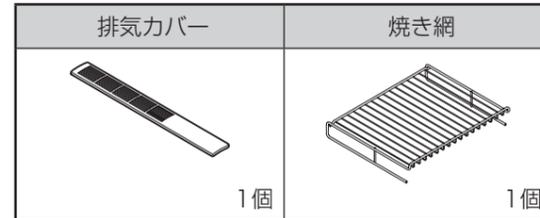


5. 設置

■ 付属品の確認

梱包材料を取り外し、付属品を確認してください。

- 取扱説明書(保証書付き)があることを確認してください。
- グリル扉止めテープをはがし、焼き網の梱包材を取り除いてください。



6. 設置後の確認

■ 設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に✓印をしてください。

確認事項		チェック
梱包材等の取り外し	付属品の取り外し	
	グリル扉止めテープの取り外し	
	排気カバーの取り付け(止めテープの取り外し)	
	グリル受け皿、焼き網の取り付け	
動作	取扱説明書、設置説明書を包装箱から取り出し、お客様にお渡りする	
電気工事	グリル扉が、スムーズに奥まで完全に閉まることを確認する	
	接地工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電気試験	① ブレーカーを「入」にする	
	② 電源電圧が200Vであることを確認する	
	③ 電源スイッチを「入」にする。→電源ランプが点灯する	
	④ 各ヒーターの動作をチェックする	
	左ヒーターのチェック	
	・ 水を入れた鉄系のなべをのせて操作パネルの左ヒーターの「加熱 切/入」キーを押す → 火力表示ランプの左から5個目までが点灯し、加熱が開始される(確認後は「加熱 切/入」キーを押して「切」の状態にしてください。)	
	※ IHヒーターは、トッププレートの加熱部に鉄系のなべがのせられている場合しか加熱されません。火力表示が点滅の場合は、なべがのせられていないか、鉄系以外のなべのため通電されていない状態を示しています。	
	右ヒーターのチェック	
	・ 左ヒーターと同様の手順で、操作パネルの右ヒーターの「加熱 切/入」キーを操作して確認する	
	グリルのチェック	
	・ 操作パネルの「グリル 切/入」キー→「焼き加減」キー→「グリル 切/入」キーの順番に押す → 焼き加減ランプの「中」が点灯して加熱が開始される(確認後は「グリル 切/入」キーを押して「切」の状態にしてください。)	

確認年月日	年 月 日	取付・設置完了確認者	印
-------	-------	------------	---

■ 確認後は

必ず電源を切ってください。
通電により本体が熱くなりますので、完全に冷えるまで手を触れないでください。


IRIS OHYAMA

IH クッキングヒーター (据置タイプ)

IHC-SG221V / IHC-SG221

工事される方へ

- この設置説明書は、取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。
- 設置工事完了後は必ず試運転を行い、異常がないことを確認するとともにお客様へ正しい使い方をご説明ください。
- ガス機器から付け替える場合は、事前にガス事業者へ連絡してください。(ガス設備を無断で撤去する事は法律で禁じられています。また、閉栓はガス事業者へ依頼してください。)
- 設置説明書にしたがわなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

安全上のご注意

本製品を設置する前にこの設置説明書を良くお読みになり、正しく設置してください。

ここに示したご注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がケガをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「強制」内容です。

⚠ 警告



必ず実施

- 施工設置は「設置説明書」にしたがい確実に設置に不備があると、漏電・火災・ケガなどの原因になります。



必ず実施

- 火災予防条例に基づき、可燃物との離隔距離を必ず守る
距離が近いと火災の原因になります。



必ず実施

- 電気配線工事は、関連する法令、規制などにしたがって、必ず「法的有資格者」が行う資格をお持ちでない方の工事は法律で禁じられています。



必ず実施

- 200V、20A以上の専用回路と、漏電遮断器を設置する
配線部が異常発熱し、発火するおそれがあります。



必ず実施

- アース工事は、関連する法令、規制等にしたがい、必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行なう
- アースを確実に取り付ける
漏電時に感電するおそれがあります。



禁止

- 絶対に分解・修理・改造は行わない
火災、感電、異常動作の原因になります。

⚠ 注意



禁止

- トッププレートに衝撃を加えない
- 上に乗ったり、物を落とさない
万が一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。



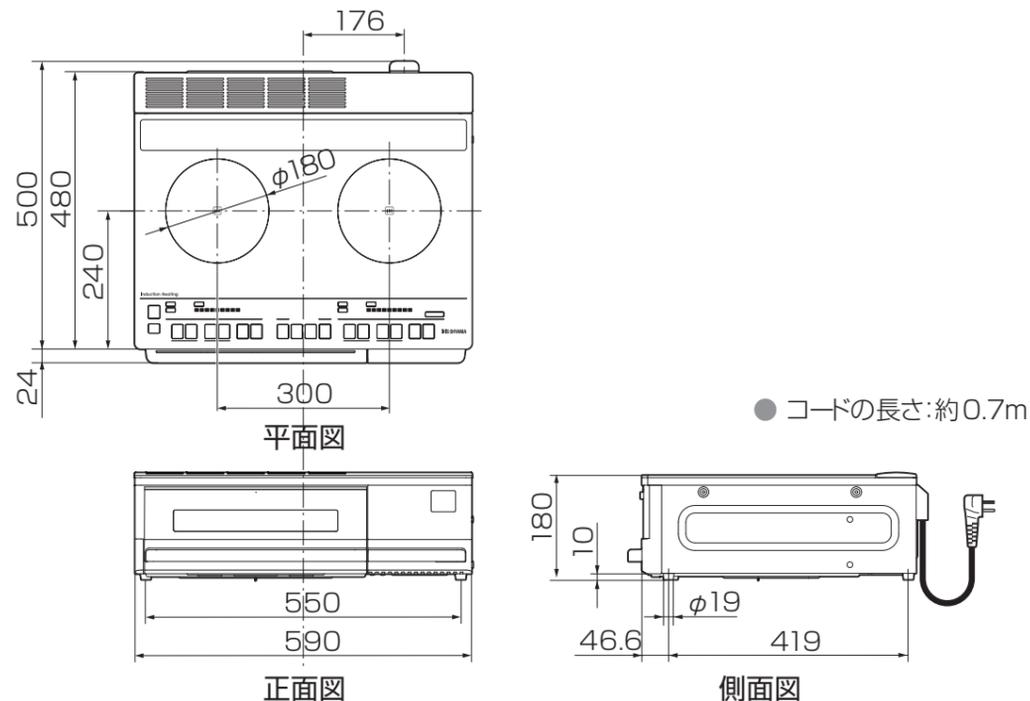
禁止

- 試運転中はトッププレートやグリル扉などの高温部に触れない
やけどのおそれがあります。

アイリスオーヤマ株式会社 お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール 受付時間 9:00~17:00
 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/> **0120-311-564**

1. 外形寸法

(単位:mm)



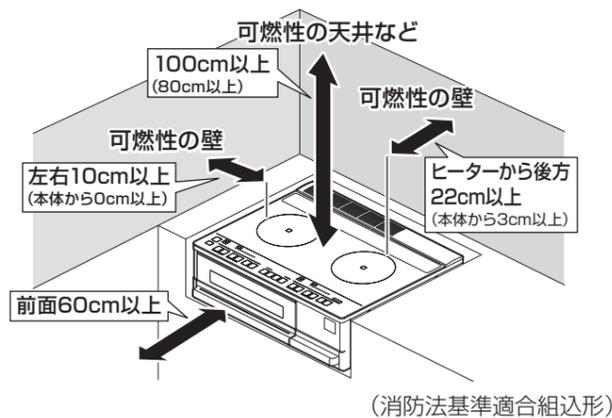
2. 設置場所の確認

火災予防条例、および「電気設備に関する技術基準を定める省令(経済産業省令);第59条第1項」にしたがって設置してください。

壁・天井からの距離

■ 周囲が可燃性の場合(防火構造壁以外のとき)

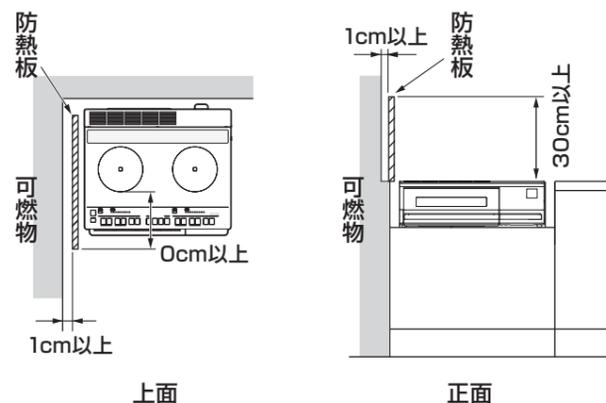
※()内は不燃性の壁または防熱板を設置した場合
 ※防熱板を設けたとき、機器周囲の木壁温度が、室温35℃の時100℃を超えない断熱性があることをご確認ください。



- 製品の金属部がキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属(メタルラスなど)とキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。(「電気設備の技術基準の解釈」において「第5章：電気使用場所の施設、第1節：屋内の施設、第167条」で危害なきよう設置することが定められています)
- 設置面に燃えやすい材料を使ったり、燃えやすいものを置いたりしないでください。

■ 可燃性の壁から上記の距離を離せない場合

市販の防熱板を取り付けてください。



- グリル排気口をステンレスの水切りカバー(水返しカバー)などでふさがないようにしてください。
- 本体をタイルやモルタルで、塗り込まないようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
- 湿気の少ないところに設置してください。
- 十分換気のできる場所に、設置してください。
- 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすいものは、置かないようにしてください。

3. 電気工事

■ 専用回路の設置

電源に单相200V 20Aのブレーカー付き専用回路を設置してください。
 ※故障の原因となりますので、三相200V(動力電源)は使用しないでください。

■ 屋内配線用電線

埋込型コンセント: 単線直径2.0mm以上
 露出型コンセント: 単線直径2.0mm以上 または、より線3.5mm²以上

■ 漏電遮断器の設置

定格電流20A、感度電流30mAの漏電遮断器を設置してください

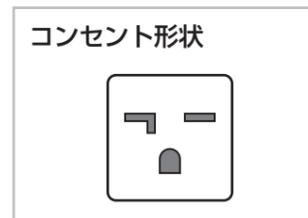
■ 接地工事

必ずD種接地工事を行ってください。
 接地線は専用コンセントのアース端子に接続してください。

■ コンセントの設置

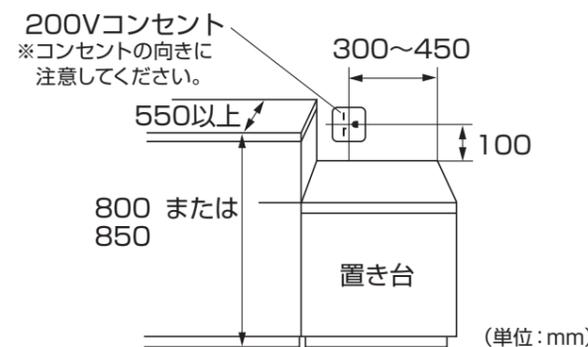
单相200V用(定格250V 20A 接地極付)のコンセントを設置してください。

- 推奨コンセント形番
 パナソニック: WKS294(露出型) WN1932(埋込型)
 ※電源コードがよじれたり、負担がかからないようにコンセントの向きに注意してください。



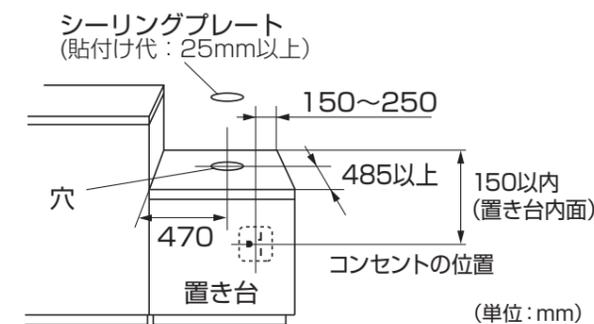
4. コンセントの設置

■ コンセント推奨位置



■ 置台より下にコンセントを設置する場合

ホールソーなどを使い、置き台に穴(φ50mm~60mm)を開ける。



※開口した穴をふさぐときは、シーリングプレートを貼り付けてください。

- 電源コードの直づけは絶対にしないでください。
- 上図の位置に設置できない場合は、壁面に取り付けてください。ただし、コードの長さの範囲内で、排気の当たらない所に取り付けてください。

